

2020年度後期 講義概要

授業科目名	医学概論Ⅱ
主担当教員名	向所 賢一 室寺 義仁
配当学年 等	第1学年
学習目標	<p>「医学概論Ⅱ」では、「医学概論Ⅰ」における地域医療を中心とした視座からの学習を踏まえ、地域医療と（地域の中核）病院とをつなぐ医療へと授業内容を展開する。その内容として、少なくとも二つの基本的な学習すべき要素がある。一つには、医療に携わる者として「利他的で公正な態度」を学ぶこと、二つには、医学を思願する者として自らの人生観・人間観を深める哲学を学ぶことである。例えば、現代日本の高齢社会における先進的な医療技術が我々に投げかけている哲学的倫理的諸問題に対して、問題意識を高め、思索を深めて行くための道筋を講義から学び取ることによって、学生諸君自らが、医学や医療の現状を客観的合理的に理解できるようになること、また、医療人としての倫理観を身に付けることができるようになることである。これら二つの学習要素を有機的に絡ませたカリキュラムとする。医学生としての自分自身が現在おかれている状況を把握し、未来に希望を持って自ら積極的に医学を学ぼうとする意欲を高め、さらに一方では、立ち止まって自分が間違った道を歩いていないかを常に点検する態度、並びに、「利他的で公正な態度」を涵養することを本授業の目標とする。</p>
授業概要	<p>「医療に携わる者として『利他的で公正な態度』を学ぶ」ための学習については、様々な専門分野における最先端の医学や医療の現状、また、地域医療の現状などを分かり易く解説したスライド・DVDなどを活用しながら、本学においてそれぞれの専門分野での研究・臨床を担っている教員を中核とするオムニバス形式の授業を展開する。「医療人としての倫理観を身に付ける」ための学習については、まずもって「医学を思願する者として自らの人生観・人間観を深める哲学を学ぶ」という学習要素が、それぞれの授業内容の中に含まれている。そして、「全人的医療」「チーム医療」「地域医療」「高齢者医療」などのテーマを扱う各授業の中において、学生諸君が自ら気づき自覚できるよう、個々の医療場面で起こり得る特有の倫理的問題に対する注意を促しつつ、どのような倫理観を身に付けて行かねばならないかなどの視点に立って授業を展開する予定である。併せて、医療倫理、臨床倫理、特に、患者と医師との関係やインフォームド・コンセントなどの臨床の現場に焦点を当て、例えば、ロールプレイも取り入れた受講生参加型の授業も行う。</p> <p>医学部生として習得すべき基礎的な知識情報に止まらず、現代日本あるいは世界の医学領域で新たに起こっている事象、あるいは、身近なところでは、附属病院でのチーム医療の現場における理念なども取り上げつつ、将来、医療人として社会に貢献するために備えるべき資質や、物事についての捉え方、考え方、結論の導き方などについて講義する。各年度ごとに社会的問題となっている医療問題や医学研究問題などについても適宜取り上げて、受講生各自がそれぞれなりの意見を持つことができるよう、質疑・対話の時間なども出来る限り設ける予定である。そうして、受講生各自に「利他的で公正な態度」を身に付けようと日々意識する習慣性が芽生えることを目指す。医学生に向けての「態度教育」を授業テーマの一つとする。</p>

授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題 有・無	授業形式 (原則、対面。)
令和2年10月8日(木)	2	向所	医療倫理	日本医師のプロフェッショナリズム(1) - 医は仁術なり -	有	(原則、対面。)
10月15日(木)	2	向所	医療倫理	日本医師のプロフェッショナリズム(2) - チーム医療におけるリーダーシップ -	有	(原則、対面。)
10月29日(木)	2	室寺	医療と哲学	平成の医療人が語る哲学と人生観人間観	有	(原則、対面。)
11月5日(木)	2	来見	地域医療	将来を予測した地域医療の実践 - 近未来型地域医療 -	有	(原則、対面。)
11月12日(木)	2	西村	チーム医療	チーム医療における医師への期待	有	(原則、対面。)
11月19日(木)	2	小川	健康管理	医療人としての健康管理	有	(原則、対面。)
11月26日(木)	2	萬代	医療安全	医療と安全管理	有	(原則、対面。)

12月3日(木)	2	荻田	高齢者医療	高齢社会における保健医療福祉の動向と権利擁護	有	(原則、対面。)
12月10日(木)	2	三ツ浪	全人的医療	全人的医療について－総合診療、ナラティブ・ベイスト・メディスン(NBM)－	有	(原則、対面。)
12月24日(木)	2	小島	態度教育	医学生への態度教育とその評価について	有	(原則、対面。)
令和3年1月7日(木)	2	藤崎	臨床倫理	ロールプレイを通じて考えるインフォームド・コンセント	有	(原則、対面。)
1月21日(木)	2	寺田	チーム医療	チーム医療における医師の役割	有	(原則、対面。)
1月28日(木)	2	向所	プレゼンテーション	思考の整理とプレゼンテーション	有	(原則、対面。)
2月4日(木)	2	向所	医療倫理・臨床倫理	「医学概論Ⅱ」の総括	有	(原則、対面。)
授業形式・ 視聴覚機器の利用	講義形式とするが、視覚的教材を取り入れながら、なるべく双方向性となるように配慮し、質疑応答も行う。					
評価方法	授業毎に出席を確認し、出席回数と提出されたレポートとによって評価する。単位認定には2/3を超える出席を前提として、講義ごとに授業担当者が与える課題に対してレポートを提出することを求める。その全レポートの総合点で、成績評価を行い合否を判定する。試験は行わない。					
教科書・ 参考文献	各授業において、それぞれのテーマに関して役に立つ入門書や参考図書を紹介して、充実したレポート作成ができるよう配慮する。レポート作成は、文献やインターネットなどの記載事項のコピーを行うことは避け、自分の言葉を使って作成すること。					
学生への メッセージ	良き医療、良き医療人について共に考え、各人が医学部で何を習得したいのかを自問自答してください。					